



教育目標「げんきで なかよく がんばる子」

松が谷

祝創立50周年

第11号

令和8年2月2日

八王子市立松が谷小学校

創立50周年記念式典

校長 沓澤 広明

令和8年1月30日（金）、多くのご来賓、保護者、地域の皆様にご臨席を賜り、松が谷小学校創立50周年記念式典を、盛大かつ心温まる雰囲気の中で挙行することができました。長きにわたり本校を支えてくださったすべての方々への感謝の気持ちを、改めて強く感じる1日となりました。

第一部では、八王子市教育委員会 安間英潮教育長、学校運営協議会 蒲木和子会長よりご祝辞を頂戴しました。本校の歩みを温かく見守り、未来への期待を込めたお言葉の一つひとつが、会場にいる私たちの心に深く響きました。6年生児童代表の言葉では、次は自分たちが学校を支え100周年へとつないでいきたいという力強い決意が語られ、頼もしさと大きな希望を感じました。厳粛な雰囲気の中、1年生から6年生までの子どもたちは、最後まで大変立派な態度で式に臨み、多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。50年の歴史は、確かに次の世代へと引き継がれていることを実感しました。

式典 第一部



第二部は、6年生の式典実行委員が進行を務めました。「僕は松が谷小学校に通って、友達と話したり、笑いあったりする時間が好きです。そんな僕にとって大切な、みんなにとっても大切な、松が谷小学校の50周年の記念式典を、心に残るものにしたいです。みんな楽しみましょう！」という言葉から始まり、子ども自身の言葉で語られた学校への思いに、会場が一気に温かな空気に包まれました。

最初に全校で歌った50周年記念ソングは、令和6年度に全校児童から集まった歌詞をもとに、音楽クラブの児童と音楽専科教員が心を込めて作り上げたものです。松が谷小への「大好き」という気持ちが、歌声となって会場いっぱいに広がりました。続いて、「みんなの松が谷小みんなで楽しく大作戦」の紹介がありました。各学年・クラス、委員会がそれぞれに工夫を凝らし、あいさつ運動や校内美化活動、集会などに取り組んできた様子が映像で紹介されました。50周年を「誰かが祝う」のではなく、「みんなでつくりあげる」記念の年として歩んできたことがよく伝わる場面でした。次に上映された「創立50周年松が谷小の未来へ」の動画では、近隣の幼稚園・保育園・学童・はちビバの皆様からの温かいメッセージや、子どもたちの日常の学校生活が映し出されました。本校が地域に支えられ、地域とともに歩んできた学校であることを、改めて実感する時間となりました。式の最後には、「未来につなげ～記念日に歌う歌～」を全校で歌い、松が谷小学校のこれからへの願いを一つにして、式典を締めくくりました。

式典 第二部



会場には、松が谷中学校の卒業生の皆さんからの心のこもったメッセージカードや、はちビバ松が谷からの「鹿島・松が谷の良いところ・好きなところ」を紹介するパネルが飾られ、50周年を祝う思いが会場をより一層彩ってくださいました。

今回の式典を通して、松が谷小学校が積み重ねてきた50年の歴史と伝統、そしてそれを支えてくださった卒業生、地域の皆様、保護者の皆様、教職員の存在の大きさを、子どもたちとともに改めて感じることができました。感謝と喜びに満ちた、まさに記念すべき1日であったと感じています。関わってくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、2月7日（土）には、創立50周年記念「松が谷フェスティバル」を開催いたします。現在、子どもたちが中心となり、準備を着々と進めています。50周年の締めくくりとして、子どもたちが生き生きと活躍する姿を、ぜひご覧ください。多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。